



公益 鳥取青年会議所
社団法人 創立55周年 改訂運動ビジョン
『環光のまち因幡』推進運動



◆運動ビジョン改訂にあたって

はじめに

鳥取青年会議所は、2009年創立50周年を迎えるにあたり、激変する社会情勢の中にありながら、どうすれば因幡地域が継続的に発展し、市民が地域に誇りと自信を持ち、明るい豊かな社会が実現できるか真剣なる議論を行い、10年間の新運動ビジョン『環光のまち因幡』推進運動を策定しました。日本経済が低迷する中、地方分権・道州制の導入、鳥取自動車道全線開通などを控え、地域に魅力がなければ、地域経済が衰退してしまう危機感から策定された新運動ビジョンを掲げ、多くの皆様と共にご理解・ご協力頂きながら、活動を行い早5年、2013年度、運動ビジョンの検証の年を迎えました。

検証の結果

私達は、今年度、この運動ビジョンを更に推進していくために策定時から変化した社会情勢を読み取り、過去の中長期ビジョン、そしてこの運動ビジョンのもと行われた過去4年間の活動の検証を行いました。

検証の結果、加速度的に人口減少・人口流出が進み、地域が疲弊していく社会情勢の中、因幡地域独自の自然環境や環境保全を活かし、『環境』と『経済』を好循環していくまちを目指す運動ビジョンは、因幡が継続的発展し、輝き続けるには、必要なものとして確信できました。そして、過去の中長期ビジョン検証の結果、運動ビジョンを更に推進していくには、因幡をひとつにし、市民と協働しながら、活動していくことが改めて重要であることを確認できました。

また、4年間の活動の成果として、ビジョンを確りと掲げ、着実に実行し、積み上げていくことが、明るい豊かな社会実現のために大切であること、改訂のポイントであり、4年間の活動から浮び上がってきた問題点である地域へのビジョンの浸透策や、経済的な波及効果など導き出せなかった部分に関しては、よりビジョンをわかりやすいものにし、発信することで地域への浸透を行い、経済的意識をより色濃くビジョンに落とし込みをし、改訂することで、ビジョンを更に推進して参ります。

まとめ

将来、この運動ビジョンが因幡のビジョンとなり、地域が継続的に発展し、市民が地域に誇りと自信を持つ明るい豊かなまち、因幡が実現するために、策定から10年後の創立60周年時の運動ビジョンの目標に向けて、因幡市民・大学・研究機関・企業・行政・NPO等の皆様のご理解とご協力を頂きながら、積極果敢に『環光のまち因幡』推進運動を展開してまいります。

◆運動ビジョン『環光のまち因幡』推進運動

因幡の豊かな自然環境と因幡の特徴を活かした環境への取組みを観光資源として活用し、多くの人と共に「環境」と「経済」が好循環するまちをつくる運動です。

◆策定から10年後の目標 ～2019年：鳥取JC創立60周年～

環境といえば因幡という地域イメージが定着していくことで、因幡の環境を求めて、多くの人・物・お金が集まるまちになります。

◆行動指針～運動ビジョン実現のために～

※全ての活動において行動指針を積極的に実践し、因幡が継続的に発展する仕組みを創り、社会に提言していきます。



◆協働

因幡市民・大学・研究機関・企業・行政・NPO等が協働した活動を行います。

◆経済

多くの人を呼び込み、新たな産業を生み出す事で、地域経済を活性化します。

◆オリジナル

因幡オリジナルを追求し続けることで新たな魅力をつくります。

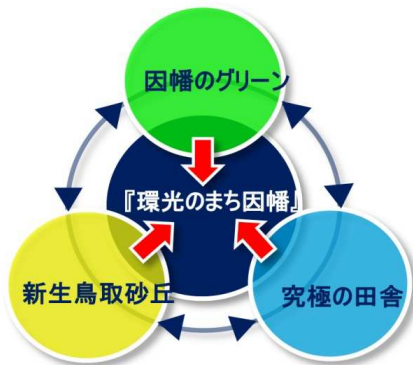
◆人財

様々な分野で活躍するリーダーの発掘と積極的な市民を増やします。

◆繋げる

自動車道等の交通インフラと通信ネットワークを活かし、他地域と因幡を繋げます。

◆ 3つの政策



※3政策=『環光のまち因幡』であり、推進していくことで、最終的に『環光のまち因幡』実現に繋がる。



◆ 因幡のグリーン政

因幡独自の環境保全を活用した取り組みを構築する。

◆ポイント

- ・企業を巻き込んだ森林保全の取り組み
- ・日本きのこセンターとの連携
- ・鳥取JCしいたけの森としいたけ地球環境防衛隊の活用



◆ 究極の田舎政策

因幡の田舎環境の価値を活かし、広める取り組み

◆ポイント

- ・移住定住も視野に入れた交流人口の増加
- ・地域住民主導と因幡各地域との連携
- ・田舎環境の保全・磨き上げ



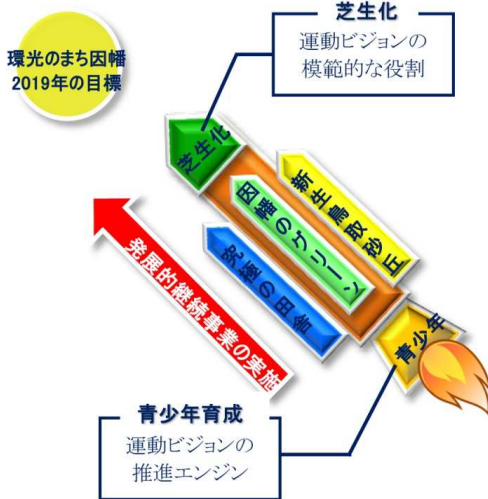
◆ 新生鳥取砂丘政策

環境保全や環境研究の視点を組合せ、世界を意識した取り組み

◆ポイント

- ・鳥取砂丘のネームバリューとイメージを活用
- ・世界一の乾燥地研究センターとの連携
- ・山陰海岸ジオパーク等の可能性の調査・活用

◆ビジョンに関連した取り組み



◆芝生化の取り組み

因幡総芝生化の実現と『芝生』=『因幡』を目指した取り組み

◆ポイント

- ・にっぽん総芝生化への挑戦
- ・芝生でつながるまちづくり
- ・芝生化全国サポートネットワークとの連携

◆青少年育成の取り組み

未来の因幡を担う人財を育む環境を創る取り組み

◆ポイント

- ・地域愛と自主性の醸成
- ・地域一体となった青少年育成

◆策定から50年後の夢 ~2059年の鳥取JC創立100周年~

世界から注目され、多くの人・物・お金が集まる環境産業の先進地となった因幡は、すべての市民が自信と誇りをもって暮らす明るい豊かなまちになります。